(一社)横浜金沢産業連絡協議会
機関誌編集委員会
〒236-0004
横浜市金沢区福浦1-5-2
印刷：三恵印刷興業株式会社

PIAだより

Yokohama Seaside

Yokohama Seaside 2022
第46号
新年号

テニス大会

職域接種

本栖湖と富士山

一斉清掃

PIAフェスタ

もくじ

新春のご挨拶

新春のご挨拶 …… 2

団地短信

1. 産連協にて職域接種を実施しました …… 4
2. PIAフェスタ2021開催報告 …… 6
   - 金沢プチマルシェ …… 7
   - PIAビジネスグランプリ2021 …… 7
   - 動画「PIAフェスタの歩み」製作にあたって …… 8
   - サプライズイベント『打ち上げ花火』をあげるまで …… 8
3. 産連協主催第32回テニス大会結果報告(令和3年度) …… 9
4. 幸浦一丁目自衛消防隊視察研修会開催さる！ …… 10
5. 金沢産業団地一斉清掃イベント実施しました(報告) …… 11

告知板

1. テクニカルショウヨコハマ2022開催！ …… 11
2. 令和4年新年賀詞交歓会は中止としました …… 12
3. 新入社員総合研修会並びに観桜会について …… 12
4. 新会員の紹介 …… 12

新春のご挨拶

寅

一般社団法人
横浜金沢産業連絡協議会
会　長　**沼田　昭司**

新年あけましておめでとうございます。

会員各位におかれましてはご家族の皆さまともども、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、やはり一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症が日本のみならず全世界で猛威をふるっており、経済活動へ多大な影響を及ぼしていることを皆様も痛感されていることと思います。

日本において感染者数は、幾たびかの非常事態宣言や、まん延防止等重点措置が発出されるなか、その都度、増減を繰り返しつつ増加傾向となっていましたが、2021年の春から日本においても新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が、まずは医療従事者、次いで高齢者向けの接種と進みました。そして政府は主に感染者の減、感染した際の重症化を防ぐために、国民へのワクチン接種を加速すべく、６月に厚生労働省から「職域接種」について発表がありました。

当初、職域接種の実施可能なケースとして、企業において1,000人以上のワクチン接種が可能であることとされており、産連協は職域接種実施者の対象外となっていました。その後、企業のみならず、団体・組合組織等で1,000人以上の接種が可能であれば対象とする旨、発表がなされました。（中小企業等は職域接種の対象となっていなかったが、団体等の単位でまとまれば対象とする旨の政府判断）

そこで、横浜金沢産業連絡協議会では、金沢産業団地企業の操業環境の維持、企業従業員の福利厚生を目的として、職域接種の実施に向け検討を行いました。６月には関係行政機関への申請を行うとともに、医療従事者の確保や会場の確保、運営要員の手配、設営ほかの準備を行いました。

その後ワクチン供給（入荷）日時の連絡が来るのを待つこととなり、職域接種申し込みから１ヶ月以上が経過した後、漸くワクチン供給についての連絡がありました。

そして、漸く、９月下旬に第１回目、10月下旬には第２回目の接種を実施し、各々、約1,000人の接種をいたしました。産連協としては、これにより多少なりとも会員企業に対して貢献ができたものと思っております。

さて、社会経済では、同感染症の影響により一昨年開催予定が延期された「東京オリンピック」･「パラリンピック」が、万全なる感染防止策を講じながら開催されましたこと、感染抑制等について日本の底力を全世界へ発信出来たのではないでしょうか。

現在、感染予防対策の強化・推進と地域、職場、学校等各組織によるワクチン接種も進展し、昨年10月下旬以降、新規感染者数の激減により対面型サ－ビス等の制限が緩和され、コロナの影響を受けた企業の業績も回復に向いつつあります。

今後は、感染予防対策と並行して消費喚起を行うような政策を推進することで社会経済活動を活発化させ、徐々にではありますがコロナ禍以前の社会経済状況となることを期待したいところです。

近年、日本各地において自然災害が多発しております。ここ金沢地区も３年前の台風襲来により、甚大な被害を受けましたこと鮮明に心に刻まれたことと思いますが、地球温暖化等の影響から昨年も各地で記録的大雨、突風竜巻が発生しております。日本は地震大国でもあり、地震を含めこれら自然災害から如何に身を守るか、また災害被害からの企業経済活動の守備固め（BCP）など、コロナ対策を含め、早急に対策を検討、実施することが必要となっています。

各企業ではコロナ対策、災害対策等、色々な課題があろうかと思いますが、産連協では、今後も各事業を通じて、会員企業の皆様のお役に立てるよう努めていく所存です。

結びとなりますが、今回の職域接種実施にあたり、ご尽力頂いた関係者各位への感謝と会員企業のますますの発展を祈念しご挨拶とさせて頂きます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

横浜市
経済局長　**星﨑　雅代**

横浜金沢産業連絡協議会の皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃より横浜市の施策に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、3年ぶりの開催となりました「PIAフェスタ」においてビジネスグランプリのプレゼンテーターをつとめさせていただき、大変うれしく、光栄に思いました。

コロナ禍の状況下においても、会員の結束を高め、市内経済の立て直しに御尽力いただいておりますこと、重ねて感謝申し上げます。

横浜市では、昨年「新型コロナウイルス感染症対策加速化プラン」を打ち出し、皆様が職域接種に御尽力いただいたおかげで、11月初頭には、横浜市のワクチン2回接種率が8割を超えました。今後も感染症対策の強化と経済の再生を両輪で回していき、厳しい状況にいらっしゃる中小企業の皆様に寄り添いながら、しっかりと支援してまいります。

結びになりますが、貴会の益々の御発展と会員企業の皆様の御繁栄を心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

横浜市
金沢区長　**永井　京子**

新年あけましておめでとうございます。

日頃から市政並びに区政に多大なる御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が順次進められ、横浜市においてもワクチン接種を希望する12歳以上で80パーセントを超える方への接種が完了しました。横浜金沢産業連絡協議会様におかれましても、職域接種に向けて一早く取り組まれ、接種の促進に御協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

また、2年間中止となっていたPIAフェスタの開催をはじめ、晴天のもとたくさんの笑顔であふれたAozoraFactory2021の開催など、コロナ禍の中でも皆様方の団結により、新たな一歩を踏み出されたことに心から敬意を表します。

保健所機能を有する区役所としましても、引き続き、皆様方の就業環境の維持、向上に向けて取り組むとともに、経済局と連携しながら地域の活性化に取り組んでいきます。

結びとなりますが、皆様方の御発展と御健勝を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

団地短信

1 産連協にて職域接種を実施しました

日本国内はもとより、世界全体で感染拡大している「新型コロナウイルス」の救世主となりうる、ワクチン（ファイザー製とモデルナ製）接種が日本国内でも2021年の春頃から、医療従事者を皮切りに接種が始まった。

ワクチン接種は順次、医療従事者から接種が始まり、次いで各地方自治体による高齢者向けの接種が始まるものの、接種の進みが鈍化し始めている中、6月厚労省から発表されたものが「職域接種」の実施であった。

これは、当初1,000人以上の企業単位によるワクチン接種の実施を推進された、後に企業単位のみならず、団体・組合組織で有っても可能と発表された。（中小企業単体では、職域接種自体は不可能であったが、団体単位で有れば可能との政府判断）

6月中旬、組合・団体等でも職域接種可能との発表後、会員企業数社から産連協でも職域接種を実施してもらいたいとの要望が数多く寄せられた。

産連協内で会長ともども検討した中で、ワクチン接種は医療行為であることから、医療従事者等の手配が可能であるのならば、また、どのくらい希望者いるものか？と言った調査等を実施してからの判断とした。

上記記載の調査・確認材料を準備していたところ、医療従事者は市大附属病院のご協力のもとの実施（想定）、かつ、ワクチン接種（職域接種）希望企業（者）の調査·確認を行っているなか、政府から、6月25日で職域接種の新規申請をストップしますとの発表があり、当協議会としてもギリギリ6月24日に（仮の接種数値による）申請書を提出、翌日受理された報告を受ける。

政府の職域接種の申請ストップは、必要数のワクチンが不足となり、全体の希望箇所への供給が出来ないとの理由により、申請を一時ストップするとともに、既存申請箇所へのワクチン供給状態もストップ状態となった。

このような状況下、産連協事務局ではいずれワクチン供給があるものと想定し、日程調整（医療従事者確保）、接種希望者調査を進め、当初の調査では5,000人を超える希望者があり、また、7月下旬を第1回目の接種日程にて調整を進めていたところ、厚労省からのワクチン供給予定の目途が立たず、7月を諦め翌8月下旬の日程調整をしつつも、ワクチン供給連絡が無く、産連協の職域接種はあきらめかけていたところ、厚労省から急きょ9月上旬にワクチンの供給・配付を開始しますとの連絡受ける。

ワクチン供給開始とともに、医療従事者の日程調整（日程と可能時間等）を行い、併せて、接種希望調査の最終確認等を同時に開始、市大附属病院のご協力により、一定期間の医師・看護師・薬剤師の確保が出来たものの、当初計画（調整）していた接種時期が、各自治体（行政）による「集団接種」の実施状況も進みつつある現状であるものの、未だ若年層への接種が多少遅れていたこともあり、最終の接種希望調査では、2,000人を超える希望者があった。

しかし、医療従事者の派遣日程と、日に何人の接種可能であるか、と言った調整を図り、派遣日程では3日間（1回の接種対応可能期間）であり、400人／日となり、産連協から、接種希望企業へ接種可能人数の調整を行い、最終的には1,200人を上限に調整を行った。

よって、今回のワクチン数量も、当初2,400人分（400／日 ×6日間）から1,200人分（400／日×3日間）を要請することとなった。

同時に、各社への接種希望者（数）の調整を行っところ、各自治体で進めていた「集団接種」も順調に推移している関係から、接種数の調整と思いきや、逆に当初希望していた接種希望者も半減した結果が得られ、ワクチン要請数と同数の接種希望者となった。

そして、いよいよ9月8日（水）からマスク·手袋等の必要消耗品が届き、その後シリンジ·ワクチン保存用フリーザー（専用冷凍庫）、9月16日（木）ワクチンが入荷された。

接種会場等の準備（設営等）も、9月15日から取りかかり、接種会場はサービス棟1階（旧レストラン内）と受付（予診票等の確認含）及び受付・接種前待機場所として、ホール内の設置準備も同時に手がけた、薬剤師によるワクチン充填室の整備を行うとともに、誘導等導線の確保から案内看板（サイン）の設置を行い、9月17日には医療従事者による会場全体の確認と備品・消耗品等々の事前チェックを行い、接種当日を迎える準備を行った。

様々な経過はあったものの、結果、9月（1回目接種）と10月（2回目接種）が無事完了することができました。今回、職域接種にご協力頂きました関係者の皆さまに、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

職域接種の流れ等説明

医師による問診

ワクチン接種

接種後　経過観察

以下、記載のとおりの接種日程、人員体制のもと２回のワクチン接種を実施。

■会場･･･横浜市金沢産業振興センター
■接種可能者数･･･1,200人（接種実績 1,000人）
■接種期日（１回目の接種）：令和３年 9月21日（火）・22 日（水）・24 日（金）
　　　　　（２回目の接種）：令和３年10月20日（水）・21 日（木）・22 日（金）
■接種時間（9：30 受付～16：00 最終経過観察終了）
　　　　　6ｈ／日の稼働時間　→　30分単位（受付～接種～経過観察）として、12接種コマ数
■職域接種の３日間の人員体制（基本）は、
　医　師･･･２名／日（午前／午後入れ替え有り）　看護師･･･５名／日（午前／午後入れ替え有り）
　薬剤師･･･２名／日（一日従事）
　受付（提出書類確認と接種後の事務整理担当含）・案内・誘導・接種補助
　　（通訳含）･･･約25名以上の体制（当日各企業からの応援人員もあった）
　※産連協事務局職員も、随所の支援体制をとるとともに、キャンセル・変更・取りやめ等の確認・調整を行った。
　※今回の職域接種は、金沢モデルと称し金沢区内の医療関係者、設営事業者、当日の受付等従事者全て、金沢産業団地内関係者と金沢区内在住大学生と言った、産学官連携した事業であった。

	【ワクチン供給〈厚生労働省〉】	【職域接種の実施〈産連協〉】
5月	厚労省より、新型コロナワクチン接種の迅速な対応策として、「職域接種」の実施を発表 ･･･原則、企業単位で、1000人以上を単位とする接種が可能とする	金沢産業団地の企業として ▷取引先から職員の迅速な接種完了を要望されていた ▷「職域接種」の条件に適合していない
6月上旬	厚労省より「職域接種」の可能範囲を拡大･･･団体・組合単位でも可能とされる	政府の職域接種可能範囲拡大により会員企業から産連協での「職域接種」の実施希望があった 《課題》 ①医療従事者の確保（医師・看護師・薬剤師） ②会場等の確保及び財源 等々 《検討・調整結果》 ①横浜市立大学附属病院の人的支援（協力） ②産業団地内事業者による設営・運営支援 が確定 ③産連協事務事業経費をもって実施
	この間、企業・団体等から「職域接種」申請が多数あったと見られる	上記内容内容を確認し、接種希望総数アンケート（１回目）を実施、結果5000人を超える希望者 希望数と接種可能数（日単位可能数）を勘案し2400人分のワクチン数とした（400人／日×６日間）
6月下旬	厚労省より、「職域接種」実施希望申請について、希望企業・団体から多数申請（接種者数）があり、一定供給数を上回る状況から、申請をストップ（6/25付）された	検討・調整結果を踏まえ、6/24付申請し受理された。 《2400人分のワウチン数申請》 （申請時点での接種日程） ７月下旬に１回目の接種 ８月下旬に２回目の接種 の予定であった、関係者による職域接種の実施日程等の検討（人員・場所等） …結果、８月下旬までワクチン供給待ち （人員・場所等を踏まえた日程調整） …２回目の（ワクチン供給状況の知らせ含） 接種希望等の調査を開始 結果、2000人強の希望者に激減 （時期の遅れ等により） …日程を、９月下旬と10月下旬接種でワクチン供給を待つ
	この間、ワクチンの供給（入荷）目途は不透明状況	
8月下旬	厚労省より、９月上旬から、順次申請者へ供給できる報告あり	２回目の調査結果から、多様な条件を確認し全体接種可能は1200人の接種範囲調整に入る ３回目の調査確認で、1200人の絞り込みし確認作業を実施
9月上旬	接種に必要な備品・消耗品・ワクチンが順次届く	会場設営はもとより、医療従事者等体制準備を実施 …各箇所で業務の再確認 （受付、予診票・接種券、誘導等々）
	9月16日（木）15時ワクチン入荷	ワクチンの保管など日々の確認作業（継続）
	9月21日 9時30分～１回目の接種開始《9月21日・22日・24日の３日間》 ▷9/24終了時点の接種完了者総数 991人　▷9/24終了後、残ワクチン数19バイアル　▷次回のワクチン供給希望数は、90バアルで申請（予定）	
10月上旬	ワクチン入荷	２回目の必要ワクチン数量を申請
10月中旬	10月20日９時30分～２回目の接種開始《10月20日・21日・22日の３日間》	

2 PIA（ピア）フェスタ2021開催報告

PIAフェスタ開会宣言　横山実行委員長

安全祈願

サプライズイベント（打上花火）

産連協の秋の一大イベント「PIAフェスタ」は、2019年、2020年と２回続けて開催を見送っております。2019年は９月に台風15号が来襲し、強風、高波、高潮が発生。防波堤等を超えて海水が陸側に入り込み、浸水等により金沢産業団地の多くの企業に被害を与えました。これは、金沢産業団地が出来てから初めての出来事で産連協は緊急事態と判断、地元企業からの情報・意見収集、情報発信、行政機関との調整等を行いました。この時はPIAフェスタが１ヶ月後というタイミングでしたが、多くの企業が被災する中でしたので、とてもPIAフェスタを開催できるような状況ではないと判断し、中止といたしました。

2020年については、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本でも猛威を振るいました。緊急事態宣言も発出され、一時は公が管理する貸出施設は貸出中止となったり、３密防止策の徹底や飲食店の営業について時短要請がされるなどいろいろな対策が実施されましたが、新規感染者数は増減を繰り返しながら、増加傾向となっていました。前回 PIA フェスタが中止になっていることもあり、今回は開催したいという思いはありましたが、周辺でのイベントの開催状況や新型コロナウイルス感染症の新規感染者の状況などについて総合的に判断し、断腸の思いで中止といたしました。

2021年、新型コロナウイルス感染症の状況は改善されたといえない状況下ではありましたが東京オリンピックが開催されました。この年は、段階的にではありますが、ワクチン接種が進展し、６月には国から職域接種の実施が発表され、産連協でも９月に１回目、10月に２回目のワクチン接種を行いました。国内で急速にワクチン接種が進んだためか、９月に入ると新規感染者数が激減しました。

新型コロナウイルス感染症の動向を横目で見ながら、今回はPIAフェスタが開催できるのか、開催するのであればどのような形なら開催できるかについて、令和３年２月からPIAフェスタ実行委員会で検討を重ねました。

今回のPIAフェスタは計画当初から台風が多く発生する時期を避けるため、開催日は11月５日（金）とし、新型コロナウイルス感染症の状況が予測不能のため１日のみの開催としておりました。開催を危ぶむ声もあるなか、新規感染者数が少ないタイミングで、規模はさておき、３年ぶりにPIAフェスタを開催することができました。

PIAフェスタの開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症を考慮し、次の方針で開催することとしておりました。

1　原則、今回は金沢産業団地企業とその従業員を対象としたイベントとして開催。
2　イベントは来場者がコントロール可能なイベントのみとする。
3　出店者を募集せず､有志による金沢産業団地製品等の委託販売等のみ行う。販売ブースが、密にならないよう対策を講じて実施する。
　※販売ブースが密にならないようコロナ対策として、今回、初めてネットによる事前予約販売を実施。（事前予約を受けることで、予約を受けた商品を準備することができ、販売ブースでの速やかに受け渡しが可能なため、販売ブースにおける人の滞留時間を減じることが見込める。）
4　がんばってくれている医療関係者への感謝と金沢産業団地企業に元気になってもらえるサプライズイベントの実施。（密を発生させないよう、告知をしないイベントの実施）

今回のPIAフェスタの実施内容は下記のとおりです。主なイベントについては、各々の責任者の方に記事の作成をお願いしましたので、詳細はそちらをお読みください。

最後に、PIAフェスタ開催にあたり、金沢産業団地企業の皆さまはじめ、（公財）横浜企業経営支援財団、横浜シーサイドフォーラム、行政機関、後援・協賛して頂いた団体・企業ほか、ご支援、ご協力を賜りました皆さまに、誌面にてお礼申し上げます。

次回は、団地内企業従業員やその家族ほか、近隣市民の方々との交流の場として盛り上げられるよう検討を進めていきたいと思います。産連協会員企業や関係先の皆さまのご支援、ご協力をお願い致します。

記

イベント名： PIAフェスタ2021
開催日時： 令和３年11月５日（金）10時～19時
イベント内容： 金沢産業団地安全祈願祭、PIAフェスタ開会式、PIAビジネスグランプリ、動画「PIAフェスタの歩み」上映、金沢プチマルシェ（物販）、サプライズイベント。
来場者数： 約500名

産業振興センター診療所
Industrial Development Center Clinic
http://idcc.jp

診療内容
●循環器内科
心臓や血管における疾患の診断・治療
胸痛、胸の圧迫感、動悸、息切れ、むくみなど
●一般内科
内科全般（かぜ症状・腹痛、吐き気など）
生活習慣病（糖尿病・高血圧・高尿酸血症など）
●一般外科
外科的疾患、切創の縫合など
●各種健診
市民健診、企業健診、がん検診、各種予防接種

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	／	／
午後	○	○	○	○	○	／	／

午前・・・8:30～13:00
午後・・・16:00～18:00
休診・・・土・日・祝日
Tel.045-782-3321

アクセス
〒236-0004　神奈川県横浜市金沢区福浦1丁目5−2

駐車場114台、1時間無料、駐車サービス券あり
■ 金沢シーサイドライン「産業振興センター」駅より徒歩2分

金沢プチマルシェ

金沢プチマルシェ

今回のPIAフェスタは例年とは異なる形で、次に繋げるPIAフェスタという位置づけで各委員が企画を持ち寄りました。企画段階では神奈川県内のコロナウィルス新規感染者数も一定数いる環境下、開催自体にも様々な意見がある中で、開催に至ったわけですが「じゃぁどうする？」を擦り合わせていくことから始まり、議論を重ね、今回の形にたどり着きました。人を集め過ぎてもいけないが、人が来ないのも困るという難しい状況下で次のPIAフェスタに向けて今の時代に則した何かができないかと思案し、実現に至った一つの企画が、「Kanazawa Petit Marche」でした。

私自身はシーサイドフォーラムの一員として、またPIAフェスタ実行委員会の委員として過去にいくつかの企画を形にしてきたつもりではありますが、毎回初めての企画を立ち上げる際は全てが暗中模索。何から始めたらいいのか、どうやって周囲を巻き込んだらいいのか、そのようなことを悩みながら、進めています。今回の Marche も同様で、過去のPIAフェスタでは行っていない代理販売という形で、どのように地域商品を集めるのか、Webでの事前受付をどのように運営するか、が一番のネックでした。

また、今までのPIAフェスタとは異なる新しい形を実現するためには組織体制も新たにする必要があると考え、今回のPIAフェスタでは企画毎に実行委員会メンバーと、シーサイドフォーラムメンバーとの合同実動チームを作り、準備を始めました。

我々Marcheチームの最初の課題は、出品企業様をどのように集めるか。コンセプトは「地域の企業や店舗をPRする場にする」であったため、合同委員会の初回会議で委員の伝手や人脈を元に意見を集約し出品依頼先をリストアップしたところ、約20社の出品候補リストが完成。各委員で分担し出品依頼を打診し、17社の各企業及び店舗から合計36品種（約1,300点）を出品して頂ける事となりました。

次に頭を悩ませたのは来場者の混雑緩和、密を避けるためのWeb受付の仕組みについてです。この仕組みづくりは同委員会メンバーに相談し、Google Foamの活用術を指南して頂き、２週間ほどかけてフォーマットの作り込みを行いました。

また、広報に関しては紙媒体での広報活動は最小限とし、シーサイドラインの主要５駅でのポスター掲示を依頼すると共に地域で活動されている各団体に御協力を頂き、SNSでの情報発信に限定して広報を行いました。

結果として、Webによる事前受付で40名以上の申し込みを頂いた上、当日は食品やお菓子などについては販売予定数量を超えて追加仕入れをした商品も発生し、それらも含めて完売をさせて頂けたことから、一定の成果を上げられたものと感じております。この機会をお借りして、御出品頂きました企業及び店舗関係者の皆様に御礼申し上げます。

総ずると、私は今回のPIAフェスタを通じて地域の底力のようなものを感じました。2019年の台風15号、2020年の新型コロナ感染拡大と２年間のブランクを経て、次に繋げようとする夫々の想いが形となり、新しいモデルケースの一つが出来たように思います。

私はこの地域で生まれ育った一人として自分自身に出来ることを一つづつ、周囲の仲間の力を借りながら形にして貢献していきたいと考えていますが、まだまだこの地域には沢山の発想や行動力を持った方が潜在していると思います。企業や組合の垣根を越えて共に汗を流せる仲間がこれからも増えていくことを願っております。

PIAフェスタ実行委員　白土和弘（㈱シラド化学　代表取締役）

PIAビジネスグランプリ2021

今回のPIAフェスタで、「PIAビジネスグランプリ2021」を初めて開催させていただきました。以前のようなPIAフェスタが開催できない中、なにか良い企画はないかと考え、IDECが毎年開催している「横浜ビジネスグランプリ」の地元版をやってみようかと思いつきました。このコロナ禍でもLINKAI横浜金沢の企業たちが、様々な新しい取組みを行っているのを見聞きしていたので、それらを発表する場にできればと考えた次第です。しかし、初めての企画でしたので、審査員、審査基準、司会者、賞金、会場投票、音響･照明、等々、決めなければならないことがたくさんあり、さらに応募がなかったらどうしようかとか、不安の日々でした。それでも多くの方々のアドバイス・ご支援のお蔭で準備は順調に進み、応募者も鳥浜、幸浦、福浦の各地域から10社となりました。分単位のタイムスケジュール（BGMに至っては秒単位）を作成し、前日にはリハーサル。せっかくなので展示スペースも用意しました。そして準備万端で臨んだ当日、適度な緊張感の中、登壇者たちの熱のこもったプレゼンが行われました。結果は、優勝：㈱大松運輸、準優勝：㈱ニットー、シーサイドライン賞：㈱大成ERC、審査員特別賞：㈱パインバレー／㈱HIGASHI-GUMIでしたが、10社の発表内容は様々な取組となっており、そのどれもが素晴らしいもので、改めてLINKAI横浜金沢の力強さを感じさせられました。当日、観覧された方々はその素晴らしさを堪能していただけたのではないでしょうか。反省点や課題もいろいろありますので、もし来年も開催するようなことになれば、今回の経験を活かしていきたいと思います。

開催にご協力いただいた皆様、当日のスタッフの皆様、そして何よりも出場企業・観覧者の皆様、御礼を申し上げます。本当にありがとうございました！

PIAビジネスグランプリ実行委員長　真鍋緑朗（アールグラット㈱　代表取締役）

出場企業（出場順）

・㈱ミナロ　「町工場B2Cエポキシアート」
・㈱大成ERC　「金沢区初！コワーキングスペースOPEN」
・東洋商事㈱　「ウィルス対策商品・製造販売のご紹介」
・松電通信㈱　「非対面対応型ショップカー」
・㈱パインバレー　「コロナ過での売上と生産性向上の取り組み」
・㈱ HIGASHI-GUMI　「請負事業から自社主体の文化事業へ業種転換」
・協和合金㈱　「設備のIoT化による監視システム」
・㈲近代アイデア　「塗装で出来る新型コロナ対策」
・㈱大松運輸　「アスリート応援採用で人材不足を解消！」
・㈱ニットー　「NHK番組「魔改造の夜」参加への取り組み」

優勝 ㈱大松運輸

協賛：㈱横浜シーサイドライン、横浜信用金庫、横浜シーサイドフォーラムほか１社

動画「PIAフェスタの歩み」製作にあたって

製作する事になった経緯は、PIAフェスタ実行委員会が何度か開催される中で、「やはり１度、PIAフェスタとは何なのか？という記録動画をつくるべきではないか」と自らで発言してしまった事がはじまりでした。先ずは、産業連絡協議会事務局の渡邊さんから過去20年分の写真アルバムと画像データをお借りし、その膨大な量の記録に対して途方に暮れました。旧い順にアルバムをザーッと閲覧。これを選定するのかと考えただけで「やはり１度、PIAフェスタとは何なのか？という記録動画をつくるべきではないか」言わなきゃ良かったと後悔…。しかしやるしかない。写真をデータ化するiPhoneアプリで年度毎に10枚～20枚程度纏めていく。20年の歴史の重みをここで感じ始めた。この作業に約１ヶ月を費やし、改めてデータで閲覧してみる。うーん、、、年度であまり違いがない写真が多いなー。

これをドキュメンタリーにするには無理がある。悩む事５秒。「よし！ PIAフェスタを創り上げてきた過去の先人達にインタビューしよう！」と思い立ち、産業連絡協議会の沼田会長を始め、貝道さんやPIAフェスタ実行委員長、シーサイドフォーラム代表幹事の皆様にアポイントを取り、２週間で約15人の方々から「PIAフェスタとは？」や「PIAフェスタでの思い出は？」の動画を集めました。このインタビューさせてもらえた事が、本当に貴重な経験で自分の糧になったと感じています。改めてご協力いただいた皆様に感謝！編集に関してはプロの方にお願いしたのですが、産業連絡協議会やPIAフェスタの事を何も知らない方に依頼をしました。その方がきっと忖度なく編集してくれるだろうという考えです。PIAフェスタの前身となるイベントの事や、坪倉さんの巨大パエリアの話し（これが１番多かった）、シーサイドフォーラムのみなさんが第２期の盛り上げ役を担っていた話し等々。

このインタビューと画像をリンクさせ、なんとか形にする事ができました。そしてPIAフェスタ2021での上映当日、多くの方が振興センターホールに来ていただき、観てもらうことができました。上映後に打ち上げた花火が過去の記憶を呼び起こし涙を流していた人が居たのがとても印象的でした。今後、この「PIAフェスタの歩み」が産業連絡協議会のホームページ等で公開されるかは決まっていませんが、PIAフェスタや、この地域の企業や人の記録として残せた事が大きな収穫です。そしてこれからも沢山の記録と記憶をみなさんと共有しましょう。ありがとうございました。

PIAフェスタ実行委員　本多竜太（Aozora Factory 代表）

サプライズイベント『打ち上げ花火』をあげるまで

私は、５年前から産業連絡協議会の福利厚生委員、PIAフェスタ実行委員会に所属しています。コロナ前は、PIAフェスタイベント周知の一環として、歌うま選手権や前夜祭、Aozora FactoryなどをPIAフェスタ実行委員会で企画し実行してきました。

2019年９月の台風15号により金沢区の産業団地は堤防の決壊により多大な被害をうけました。毎年PIAフェスタは10月中旬に行っており、１ヶ月での復旧は到底できないですし、イベントを開催できる状態ではなく、PIAフェスタ実行委員会としては中止を判断し復旧に全力を注ぐ事に決めました。

翌年にはある程度の復旧が見込める段階でしたが、新型コロナウイルスによるクラスター感染で新たな問題に直面しました。未知のウイルスの危険性もあり、PIAフェスタは２年連続での中止の判断を下しました。

そんな中、新型コロナウイルスの感染の終息の兆しは見えなく３年連続での中止も視野に入れ、実行委員会が開かれました。賛否両論ある中、人を集めないで出来る事をしようと試行錯誤し、台風被害の復興、医療従事者の方への感謝の意味も兼ねて花火を打ち上げようと意見がまとまりました。

ですが、花火を告知してしまうと、人が集まりクラスターの可能性があるので『サプライズで打ち上げよう！』となりPIAフェスタの最後に打ち上げる形になりました。

結果として、花火良かったね！いきなりびっくりした！来年も花火お願いします！という明るい声が聞けて、来年度のモチベーションアップになりました。

次回も新しい挑戦をして地域により良い刺激を与えられるようPIAフェスタを盛り上げていきたいと思います。

PIAフェスタ実行委員　谷口滋康（㈱オルダー　代表取締役）

（一社）横浜金沢産業連絡協議会
ー集団取扱でお申込ー
割安な保険料

すでにご加入の保険
内容を確認してみませんか？
いざ!!の時、使えなかった!!
では、困ります!!

そんな時は
私たちにご相談を！

【募集代理店】株式会社ライフキャピタル
〒235-0045　横浜市磯子区洋光台1-12-32
TEL:0120-925-373

【引受保険会社】「生きる」を創る。
Aflac
横浜支社：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2
TSプラザビルディング15F
※当社に関するお問い合わせは下記コールセンターへ
TEL:0120-555-595

3 産連協主催第32回テニス大会結果報告(令和３年度)

昨年11月14日（日）に産連協主催のテニス大会を開催いたしました。

前回同様、今回も新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら、流行状況が悪化した場合は急遽中止することも視野に入れての募集となりました。

大会開催直前の流行状況を見極めつつ、屋外コートでの実施であること、可能な限りの対策の実施（手指消毒用アルコールの設置等）と参加者の皆様の協力（検温、体調申告、ソーシャルディスタンスの確保、試合中以外はマスクの着用する等）を得ることで、前回に続き開催を決定いたしました。

今回は、男子ダブルス12ペア、女子ダブルス７ペアの参加で、前回より男子は２ペア減、女子は３ペア減となり、前回に対してトータル５ペア減ということで、主催者としては、もっと皆さんに参加してもらえるよう努力せねばと認識をさせられた大会となりました。

今大会、男子ペアは、前回優勝ペアが出場しておりませんが、過去に優勝の経験のあるペアや前回準優勝のペアがエントリーしており、前回以上に混戦が予想されました。女子ペアは、前回優勝ペア出場しており、連覇を目指す前回優勝ペアに、ほかのペアがいかにして挑むかが焦点となりました。

試合は例年同様トーナメント方式とし、初戦敗退者のみコンソレーションを実施。参加者は最低２試合できるように図っており、みなさんが楽しめるよう配慮しております。

コロナ禍の中、参加者の皆さんの協力を得て、概ねスムーズに大会が運営ができました。ありがとうございました。

本大会の主たる目的は、みなさまの健康増進、人との交流の場として活用して頂くことです。この度の大会開催は、コロナ禍において安全を確保しつつ、健康増進と交流を深める場を提供できたかと思います。

さて、試合の状況はと言いますと、男子の決勝戦は前回準優勝ペアと過去に優勝経験のあるペアとの対戦となりました。決勝戦は大いに盛り上がりを見せ、

ゲームカウント５対５となり、勝敗を決する最終ゲームに突入しました。最後は６対５で前回準優勝ペアが競り勝って念願の初優勝を果たしました。

女子の決勝戦は、連覇を目指す前回優勝ペアと、勝てば初優勝というペアの対決となりました。こちらも大いに盛り上がり、男子決勝と同様、ゲームカウント５対５の展開となり、最終ゲームを取った方が優勝という状況になりました。優勝経験が生きたのか最終的には６対５で前回優勝ペアが勝ちきりました。

今回の決勝戦は男女とも接戦での決着となり、観戦者も含め楽しめた大会となったかと思います。

今回も参加者を始め、ご協力頂きました関係者各位のご協力により無事に大会を終了することができました。誌面を借りてお礼申し上げます。

また、今回の大会開催にあたり、大会運営につきましては金沢テニススクール広瀬コーチに協力を頂き、飲料の協賛はダイドー・ドリンコ株式会社様より頂きました。誠にありがとうございました。

次回のテニス大会をより活性化させるための検討を進めたいと思います。

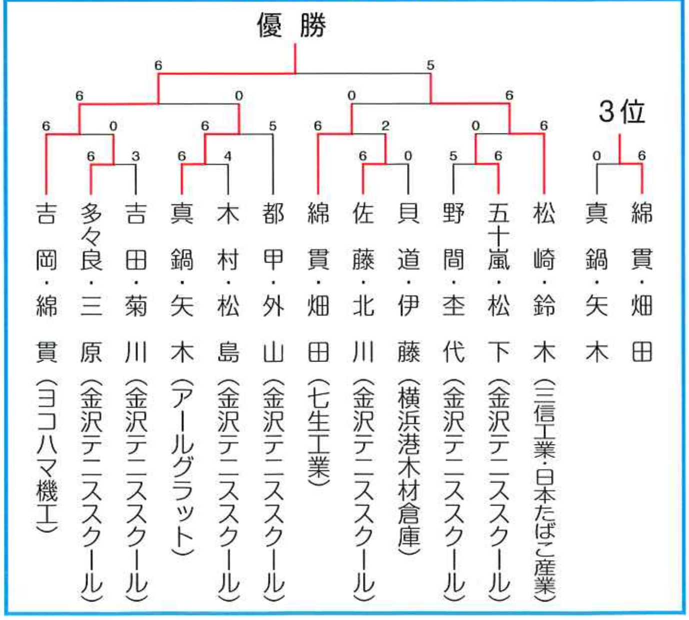
皆様のご参加お待ちしております。

今回の優勝ペア、準優勝ペアは次のとおりです。大会結果についてはトーナメント表をご覧下さい。

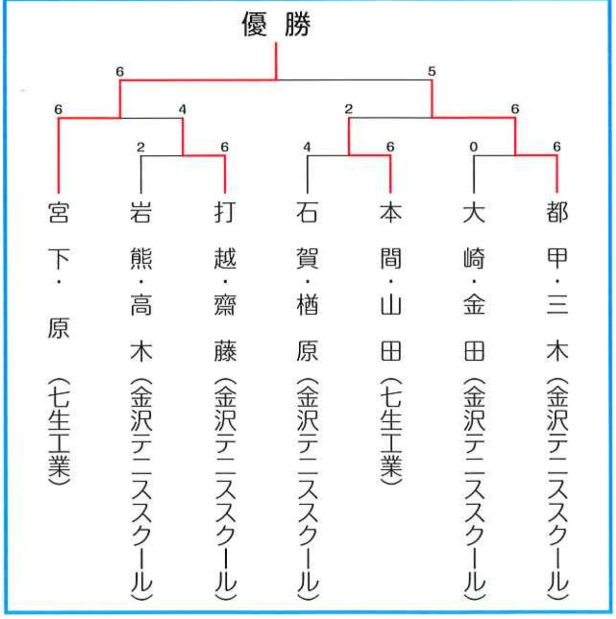
男子優勝	吉岡　璋・綿貫　友哉	㈱ヨコハマ機工
男子準優勝	松崎　順一・鈴木　健介	（三信工業㈱・日本たばこ産業㈱）
女子優勝	宮下まゆみ・原　みゆき	（七生工業㈱）
女子準優勝	都甲　文恵・三木留美子	（金沢テニススクール）

（敬称略）

男子ダブルス　本戦



女子ダブルス　本戦



主催：（一社）横浜金沢産業連絡協議会　　協力：ひろせテニスクール　　賞品協賛：ダイドー・ドリンコ㈱

優勝ペアコメント

（男子ダブルス優勝　吉岡・綿貫ペア）

今まで準優勝が 最高の成績でしたが、今回は大変な強敵で、ゲームカウント０－４まで追い込まれました。幸い運も味方し、予想外の僅少差で逆転で勝つことが出来ました。相手チームは紳士的で、我がチームの穴（吉岡）を攻めずに戦っていただいたお陰の優勝でした。ありがとうございました。

（女子ダブルス優勝　宮下・原ペア）

今年の大会は天気は良かったものの強風に悩まされ、初戦から難しい試合でした。どうにか持ち直し、ギリギリ勝ち抜くことができました。参加している方々がどなたもフレンドリーで楽しく対戦してくださり、前回に続き今年も出場して良かったなと感じました。大会運営の皆様には暖かい心配りと適切な運営に感謝しています。次回以降もこの大会を末永く開催してくださることを願っています。

男子ダブルス優勝　吉岡・綿貫ペア

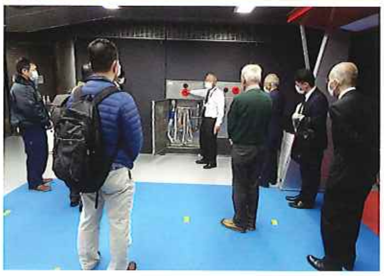
女子ダブルス優勝　宮下・原ペア

テニス大会風景

4　幸浦一丁目自衛消防隊視察研修会開催さる！

昨年、12月９日に幸浦一丁目自衛消防隊視察研修会として、東京スカイツリーのほど近く、東京都墨田区横川にある「本所防災館」を見学に行きました。

この施設は、「楽しみながら学べる、身につく防災体験施設」というキャッチコピーがついており、防災に関する様々な体験ができます。都市型水害体験、地震体験、煙体験、消火体験、応急手当体験、暴風雨体験、VR防災体験、防災シアターがあります。



今回体験することができた防災体験の中で印象的だったのは、都市型水害体験と地震体験でした。都市型水害体験では、建物のドアと自動車のドアの２種類あり、水の深さは各々

数十cm（深さは数パターンあり）という設定でしたが、みなさん、思った以上にドアを開けるのに苦戦されているようでした。地震体験では、阪神淡路大震災、東日本大震災とメジャーな地震パターンのほか、最近の大きな地震である、熊本地震というパターンもあり地震のパターンもアップデートされているのに驚きました。私も地震体験に参加しましたが、震度７となると這いつくばるほかは何もできませんでした。

今回は、インストラクターの方が一緒について、施設の案内や説明等をおこなってくれました。色々とフロアを廻り、説明を受けたのですが、私の興味を引いたのは屋内消火栓の使用上の注意でした。屋内消火栓の扉を開けたら、まず、ホースを地面に落とす（中から出す）必要があるということを初めて知りました。何でも、ホースを出さずに水栓を捻って水を出してしまうと、ホースがパンパンになって引き出せなくなるということでした。

屋内消火栓を扱ったことがある方にとっては常識でしょうが、屋内消火栓の中も見たことがない者にとっては、「そうなのか～」と感心し、何事も見て体験することが必要だなと思いました。

全行程２時間程度の見学、体験でしたが、防災については知識だけでなく体験が大事であると感じました。とくに都市型水害体験は、40cmの水の高さなら、簡単にドア開けられるだろうと思っている方が多いかと思います。是非、体験してみてください。車のドアはもっと大変ですよ。

参加者のみなさんには、この見学・体験で得られたものを会社や自宅等でフィードバックして頂き、防災意識の維持向上や減災対策の検討に努めて頂ければと思います。

最後に本視察研修会の調整にお骨折頂いた金沢消防署幸浦消防出張所　近藤所長に誌面を借りてお礼申し上げます。

公社の賃貸住宅[シーブリーズ金沢]入居者募集のご案内

「横浜金沢産業連絡協議会」の会員企業で働く方限定の入居特典

つくる、つなげる、再生する。
横浜市住宅供給公社

先着5名様
期間限定
キャンペーン
実施中!!

①賃料10%OFF※
②仲介手数料０円
③礼金０円
④敷金０円※
⑤引越費用を５万円分、公社が負担※
⑥更新料０円
⑦原状回復工事費用０円※
※諸条件有

詳しくは会員企業に配布のチラシをご覧ください。

金沢区柴町365-2
金沢シーサイドライン
「海の公園柴口駅」
又は「八景島駅」徒歩8分
ファミリータイプ　3DK・3LDK
賃料：９９，０００円/月～

お問い合わせ ☎045-451-7766
横浜市神奈川区栄町8-1　ヨコハマポートサイドビル4F　賃貸住宅募集窓口
【受付時間】９：００～１７：００【定休日】火・水曜日　年末年始等
りぶいん　検索
http://www.yokohama-livein.jp

5 金沢産業団地一斉清掃イベント実施しました（報告）

近年、金沢区臨海部産業団地内メイン道路中央分離帯へのごみの不法投棄が問題となっています。

平成29年度から（一社）横浜金沢産業連絡協議会と金沢土木事務所、金沢区役所等が連携し、ごみの不法投棄が集中する箇所において、一斉清掃イベントを実施しています。今回で数えて５回目となりました。

作業開始前には、横浜市金沢産業振興センターにて出陣式も行われ、永井金沢区長、松嵜土木事務所長、沼田産連協会長などが出席し、作業概要や手順、安全確認等を行いました。

一斉清掃中は、金沢警察署の協力を得て、パトカーによる駐車車輌への注意喚起を行ってもらい、通行車輌に留意しながら安全を確保しつつ作業が行われました。

今回も昨年に続きコロナ禍での開催となりましたが、開始以来最多の約190名の方にご参加いただき、実施することができました。

参加企業、団体、行政機関の皆様、お疲れさまでした。

なお、今回の実施内容、成果等は次のとおりです。

1 **実施日時** 令和３年11月17日（水）14:00～15:00
2 **実施箇所** 幸浦１交差点から電機団地前交差点まで総延長約３km
3 **成　　果** 45Lごみ袋　192袋（清掃車１台　約640kg）
4 **参 加 者** 約190名　横浜金沢産業連絡協議会会員企業・組合45社・団体、金沢区役所、金沢土木事務所、金沢警察署、南部下水道センター

一斉清掃参加企業一覧（産連協へ参加連絡あった企業等）

Aエリア ㈱アイダスト／㈱神奈川ウッドエネルギーセンター／㈱シンシア／㈱バンテック／藤森工業㈱／丸全昭和運輸㈱
Bエリア 金子コンクリート㈱／三友プラントサービス㈱／㈱森鉄工所／㈱有恒商会
Cエリア ㈱光洋スクエア／平和産業運輸㈱／㈱横浜シーサイドライン／（協）横浜マーチャンダイジングセンター／（協）横浜輸送センター／㈱ワン・ツー・ストック
Dエリア 雨宮自動車工業㈱／㈱アルファ／㈱神奈川保健事業社／キリンホールディングス㈱／興栄商事㈱／三波工業㈱／東邦精機㈱／日本たばこ産業㈱／プロテインケミカル㈱／守谷輸送機工業㈱／横浜化学工業団地（協）
Eエリア ㈱ＩＨＩ検査計測／㈱羽後鍍金／京急サービス㈱／三恵印刷興業㈱／東洋商事㈱／㈱富士繁／㈱ブリヂストンＥＭＫ㈱／㈱山喜／㈱山室／横浜機械工業団地（協）／㈱景泉機器／㈱晃鈴産業／㈱ダイハン／㈱坪倉興業／永谷工業㈱／㈱沼田商会／㈱藤村電器製作所／横浜電機・精機工業団地（協）

告 知 板

1 テクニカルショウヨコハマ2022がハイブリッド展示（リアル＆オンライン）で開催

前回のテクニカルショウヨコハマ2021は、コロナ禍での開催となり、初めてオンラインのみでの開催となりました。現在、日本においては、新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せていますが完全に収束したとまでには至っておりません。そのような状況下、今回のテクニカルショウヨコハマ2022は、ハイブリッド（リアル展示とオンライン展示）で開催されます。リアル展示とオンライン展示の両方に是非、ご来場ください。

名　　称 第43回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2022」
開催趣旨 最先端の技術・製品が一堂に会する、リアルとオンラインのハイブリッド型展示の首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市として、出展者・来場者の皆さまに業界の枠を超えた情報の発信、収集、交流を広範囲に展開していただき、技術・製品の販路拡大、ビジネスチャンスの創出、地域産業の振興を図ることを目的とする。
テ ー マ 「技術が未来を拓く」
リアル展示会期 2022年２月２日（水）～４日（金）　３日間　10:00～17:00
リアル展示会場 パシフィコ横浜展示ホールＡ・Ｂ・Ｃ（横浜市西区みなとみらい１−１−１）
開催規模 リアル展示　13,300 ㎡　600社550小間
オンライン展示　2022年２月２日（水）～10日（木）　９日間
公式ホームページ 650 社
入場料／閲覧料 無料（登録制）
主　　催 （公財）神奈川産業振興センター、（一社）横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市

2 令和４年新年賀詞交歓会は中止としました

日本で新型コロナウイルス感染症が流行し始めてからおよそ２年となりました。世界の多くの国々では、新たな感染者が増えています。翻って国内を見ますとワクチン接種が急速に進んだためか、９月頃から新規感染者は激減し、現時点では、１日あたりの新規感染者数は、100人余りという状況となり、落ち着きを見せています。

しかしながら、感染力が強いと言われるオミクロン株というあらたな株が世界で流行しつつあり、日本国内でもオミクロン株の感染者が発見され、水際対策の強化が図られるなどの動きも出ています。

さて、飲食については、国内の新型コロナウイルス感染症の動向が落ち着いていることもあり、しっかりと対策が行われている飲食店については規制が緩和されてきています。そうは言いましても、神奈川県などの行政機関からは、マスク飲食の推奨がなされるなど、新型コロナウイルス感染症に対しての警戒が呼び掛けられております。

そのような状況下、令和４年新年賀詞交歓会の開催の可否について検討を重ねました。

国内の現状や現時点での周辺団体等の開催予定なども勘案、検討した結果、参加者および関係者の皆様の健康と安全を第一に考え、やむを得ず中止とする判断を致しました。

令和３年に続いての中止となりますが、皆様には何卒ご理解くださいますよう、お願い致します。

今年こそは新型コロナウイルス感染症が収束し、次回の新年賀詞交歓会が開催できることを祈念致します。

3 新入社員総合研修会並びに観桜会について

例年４月上旬に開催している「新入社員研修」「新規採用者安全衛生講習」「マナー講習」ならびに「観桜会」は、開催方法を含めその可否について検討を進めております。

ちなみに昨年は、「新入社員研修」については新型コロナウイルス感染症対策を講じ、さらに人が密にならないよう一部講習は２回に分けるなどした上で実施しました。「観桜会」については、人が密になる可能性や飲酒を伴う飲食への懸念、注意喚起などもあり中止と致しました。

今後、新型コロナウイルス感染症の流行状況や行政機関からの要請状況等を見ながら判断をしていく予定です。

現時点では、新入社員研修については２月頃、観桜会については、３月頃にその可否等を含め各企業へお知らせする予定です。

4 新会員の紹介

Ⓐ 南関東日野自動車株式会社
代表取締役社長　毛利　悟
本社：東京都港区新橋5-18-1
横浜支店：横浜市金沢区幸浦 2-6-1
電話：045-788-1717　　FAX：045-788-0770
URL：https://www.mkanto-hino.co.jp

会社紹介
弊社は、東京・埼玉・千葉・神奈川の一都三県をテリトリーとする、日野自動車販売会社（ディーラー）です。日野自動車は、トヨタグループにおいて、大型の商用車を主に担当する企業です。トラック・バスは、いまや日本経済・社会を支える重要な商品といえ、弊社はこのような商品の販売・修理・部品販売をさせて頂いております。お客様のビジネスを支え共に成長すべく日々努力を重ねてまいります。

Ⓑ 株式会社レンタルシステム関東
代表取締役社長　阿藤　勇二
本社：川崎市川崎区南渡田1-1 京浜ビル2F
電話：044-328-6470　　FAX：044-333-0047
幸浦事務所：横浜市金沢区福浦1-5-2
電話：045-785-3321　　FAX：045-788-2565
URL：ホームページはJFEグループよりジェコス建機レンタルで検索してください。

会社紹介
私共レンタルシステム関東は旧川崎製鉄と旧日本鋼管が統合したJFEスチール㈱のグループ企業の一員になります。主に建設機械のレンタルを生業として参りましたが、企業の多様化にいち早く取り組み土木、建築に留まらず設備や内装関係の業者様などにも幅広くご利用を戴いております。この金沢区に事務所を設けた理由は既存の造船関連のユーザー様に対応するべく出店するに至りました。また金沢区のユーザー様はまだ少ないですが、将来的には地域産業のお手伝いが出来ればと考えております。

Ⓒ アンスリー株式会社
代表取締役　有光　康行
横浜市金沢区釜利谷東4-57
電話：045-780-3433　　FAX：045-780-3434
URL：https://www.anthree.jp
E-mail：弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご連絡ください

会社紹介
アンスリーは2000年設立の、リフォームや店舗新設など建築工事全般の業務及びハウスクリーニング業務を行う会社です。お建物を長く快適にお過ごしいただくため、お客様の理想の空間づくりをご提案し実現します。金沢区では10年以上業務を行っており、昨年11月より六浦から釜利谷東へ事務所を移転いたしました。新しい社屋で従業員一同ますます鋭意努力してまいります。まずは小さなことでもお気軽にご相談ください。